

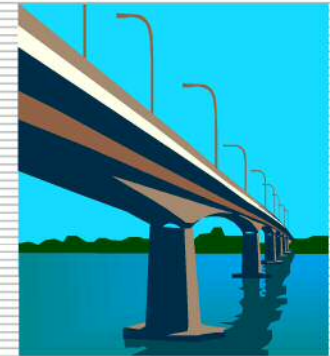
公共施設マネジメント推進について

～ 将来世代に負担を先送りすることなく、
より良い資産を次世代に引き継いでいくために ～

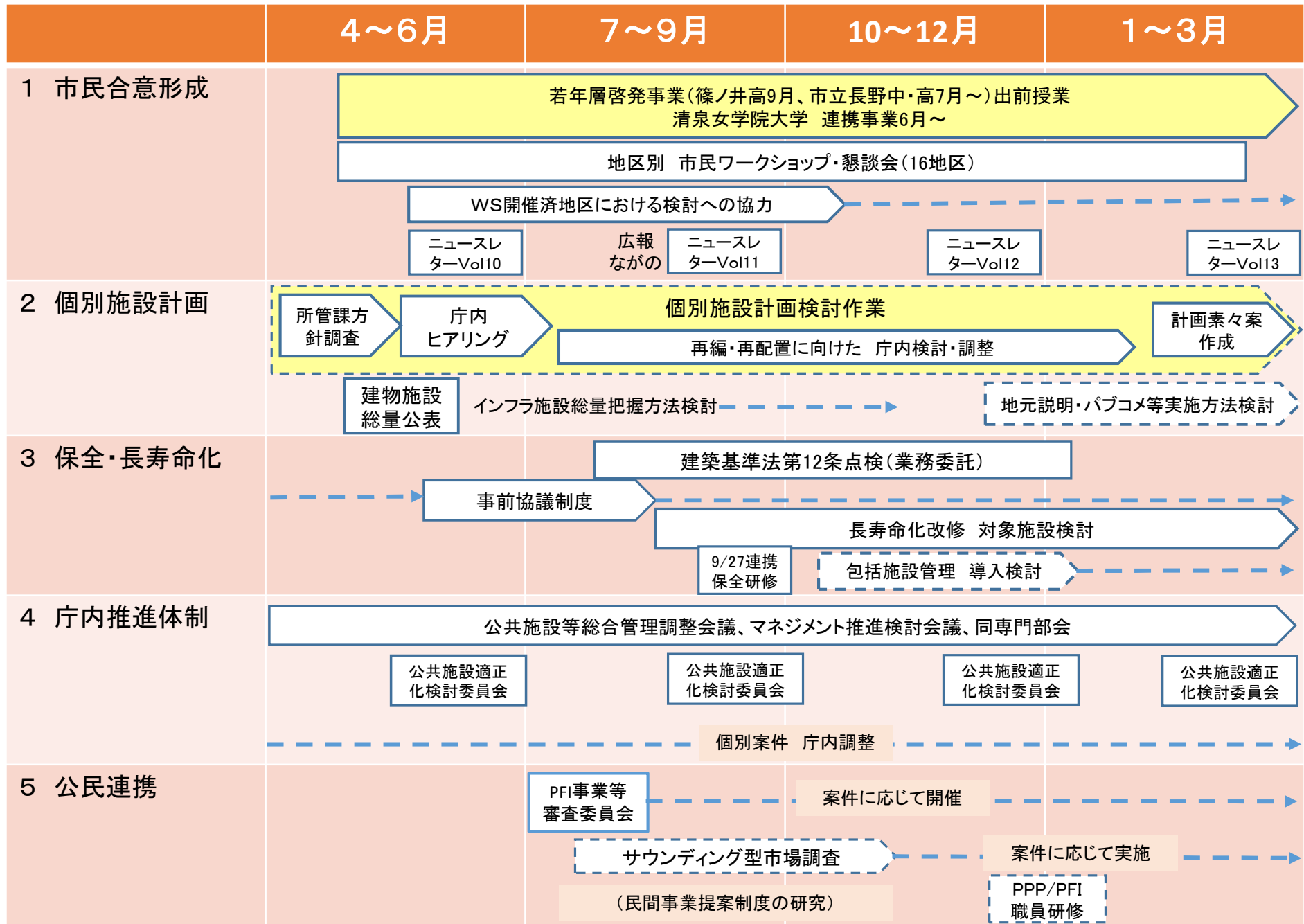
令和元年 6月 20日

総務部 公有財産活用局

公共施設マネジメント推進課



公共施設マネジメント推進課 令和元年度スケジュール



1 市民合意形成の取組

(1) 若年層啓発事業

篠ノ井高等学校(9月頃)、市立長野高等学校・同中学校で出前授業
 高校では、探究的な学びでマネジメントを選択する生徒を支援

清泉女学院大学プロジェクト

1年目で実施した現地調査や、シミュレーションゲーム作成を踏まえて
 2年目の活動を学生が主体的に検討して行く



写真は清泉プロジェクト市長懇談の様子

(2) 地区別市民ワークショップ

開催地区 (開催予定)

中条 (8月20日、9月25日、10月24日)

長沼 (1月、2月)

鬼無里地区では、昨年度のWSを踏まえて、支所が中心となり、
 支所・活性化センター周辺施設の在り方を検討
 (公マネ課職員も協力)

(3) 地区別懇談会等

開催地区 (開催予定)

小田切 (6月13日) 芹田 (6月14日)

若穂 (6月19日) 三輪 (6月25日)

大豆島 (7月24日) 第四 (7月25日)

更北 (7月26日) 川中島 (9月9日)

第一 (9月18日) 安茂里 (10月9日)

日程等調整中の地区

第二、古牧、吉田、古里



写真は柳原地区の懇談会

(2)(3)等について、5月10日の住民自治連絡協議会理事会において協力を依頼

経過等

H28WS	H29WS	H30
芋井	篠ノ井、松代、七二会、朝陽、浅川、大岡、信州新町	戸隠、信更、豊野、若槻、鬼無里でWS、第三、第五、柳原で懇談会開催

2-1 個別施設計画策定に向けた取組①

(1) 個別施設計画(建築物)策定作業

平成29年6月 建物に係る基本方針を作成（インフラ等所管省庁の指示がある施設群は指示により作成）
令和2年度までの策定に向けて、施設所管課と公マネ課で作業を進めている ⇒次ページ参照

◇計画策定済の施設

H29年度	H30年度	R元年度
保育所長寿命化計画（皐月保育園の改築整備）	個別施設計画 公文書館編（フルネットセンターの転用）	個別施設計画 市民プール編（屋外プールの統廃合） 個別施設計画 老人憩の家(松代地区)編（保健保養訓練センターの転用）

◇今年度中に策定予定の施設＝市営住宅等（公営住宅ストック総合活用計画・公営住宅等長寿命化計画を改訂）

(2) 公共施設(建物)の施設総量について、本年4月1日現在で集計し公表

	施設数	延床面積	人口	市民一人当面積
H31年4月1日現在	1,369	1,666,629㎡	376,080人	約4.4㎡
H30年4月1日現在	1,396	1,673,943㎡	378,389人	約4.4㎡
増減	△27	△7,313㎡	△2,309人	0.0㎡

◇令和3年度の公共施設等総合管理計画の改訂時には、インフラ施設総量を改めて公表する予定

(3) 中長期保全計画(改修・更新費用推計)

個々の施設について、目標使用年数と改修周期を前提とした中長期保全計画を昨年度作成
施設の劣化度や今後の在り方、施設群における優先順位等により改修・更新時期を調整し、個別施設計画において計画期間中の対策(予定)を示す

個別施設計画検討の中で、現存施設を使えるだけ使用して、更新しないこととする方針の施設は、中長期保全計画における更新費用を減ずる

2-2 個別施設計画策定に向けた取組②

計画策定の進め方(案)

- 1 公共施設等総合管理計画、再配置計画等を踏まえ、各施設の在り方を改めて所管部局において検討（市民サービスの在り方、収益改善策等）
- 2 各施設の方向性について、公マネ課と施設所管部局でヒアリング実施
個別施設群再編に向けた方向付け（将来に向けて何ができるのか）
- 3 個別施設群における、保全含む計画期間中の対策内容と対策の実施時期を整理し、個別施設計画の素々案を作成する（10年間に何を行うのか）
- 4 個別施設計画の素々案を、議会・審議会等に説明し意見を聴く
統廃合に踏み込む施設群は地元・利用者等へ説明し、パブコメを実施する
- 5 個別施設計画策定 ← 令和2年度中(施設群毎) ⇒ 対策の実施 ⇒ フォローアップ

※公共施設等総合管理計画の改訂

個別施設計画を反映し、平成29年3月に策定した長野市公共施設等総合管理計画を改訂することで、更なるマネジメントの推進を図る。(H30.4 総合管理計画策定指針改訂(総務省))

2-3 個別施設計画策定に向けた取組③

計画策定の進め方(案)

- 個別施設計画の素々案を、議会・審議会等に説明し意見を聴く
統廃合に踏み込む施設群は地元・利用者等へ説明し、パブコメを実施する

◇施設の統廃合に及ぶ計画(施設群)の場合



※住民自治協議会への説明は、できるだけ地区内の施設について、まとめて説明するよう調整

3-1 保全・長寿命化の取組①

(1) 事前協議制度

- ・事前協議: 200㎡以上の新築・増改築等について、事業の計画が、公共施設等総合管理計画と整合が図られているか事業担当課と事前協議を行い、公マネ課としての見解を回答する(整備内容の最適化を目指す)
- ・改修工事の優先順位付: 130万円以上の維持改修工事について、工事内容を公マネ課が危険度・劣化度等から評価し工事の優先順位付けを行い、予算査定資料とする
- ・今後も引き続き実施し、財政との連動を図る

(2) 建築基準法第12条点検(業務委託)

同法第12条第2項において「建築構造、敷地、建築仕上げ」について3年ごとに、有資格者による劣化状況の点検が義務付けられている
対象施設=200㎡を越える学校・保育園・福祉施設・集会所等、及び、5階建て以上で1000㎡を越える庁舎。学校と市営住宅以外の294施設について、公共施設マネジメント推進課において、3年に分けて点検業務を委託発注
なお、防火設備、エレベーター等は施設所管課において毎年点検を実施

	H30年度	R元年度	R2年度予定
点検施設数	83施設	94施設	99施設



写真は外壁(タイル)点検

(3) 公共施設マネジメント等スキルアップ事業(連携事業)

令和元年9月27日 職員研修実施予定
研修テーマ「公共建築物の長寿命化と計画的な予防保全について」(予定)
施設担当職員が、長野市城山分室の建物・設備を実地に見学
建築物保全マニュアルも活用しながら日常点検について研修する
参加自治体: 長野市、須坂市、坂城町、信濃町、飯綱町、高山村

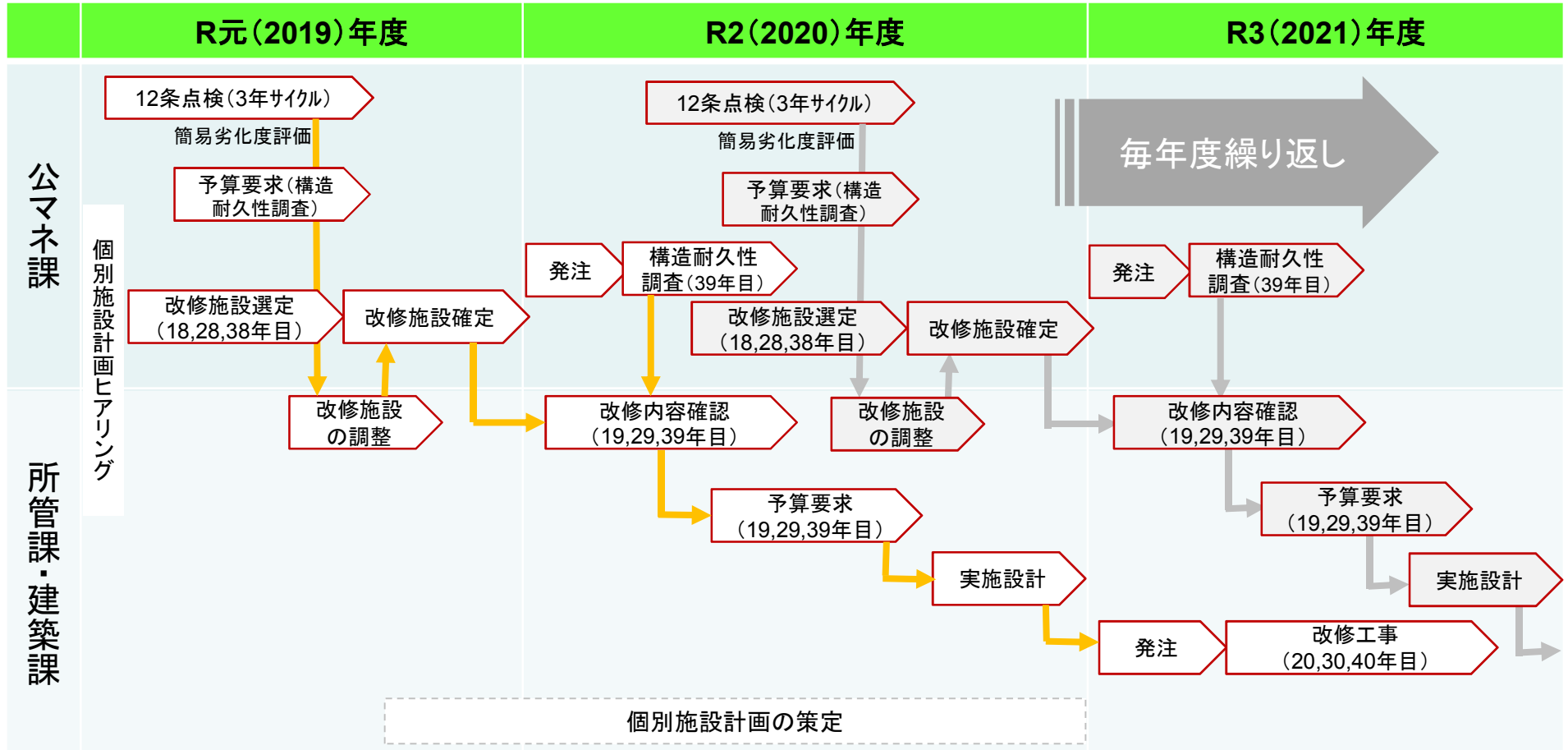


写真は保健所屋上

◇明石市等で実施している「包括施設管理業務委託」手法の導入を研究
施設毎に発注している管理業務を包括的に委託することで、点検・メンテナンスの質向上と事務コスト減を図る

3-2 保全・長寿命化の取組②

中規模改修・長寿命化改修の実施サイクル



◇構造耐久性調査＝鉄筋のかぶり厚さ、腐食度、中性化の深さ、コンクリート強度等を調査、構造体の劣化度から耐久性を評価する

長寿命化基本方針	構造	新耐震非木造	旧耐震非木造	木造・軽量鉄骨造	←旧耐震非木造、及び、木造・軽量鉄骨造は、「長寿命化改修」は行わない	
	目標使用年数	80年	50年	40年		
			20年	40年	60年	80年
		中規模改修	長寿命化改修	中規模改修	更新	

4 公民連携の取組

(1) 長野市PFI事業等審査委員会の設置

PFI事業等の導入プロセスにおいて、客観性、公平性、透明性を確保しながら、専門的見地から調査・審議するため附属機関として設置（アドバイザー選定、要求水準書、事業提案の内容等を調査・審議）

7月を目途に第一回の委員会を開催し、以後案件に応じて開催し審査を行う

選出区分	所属団体等	氏名
学識経験者（教育機関）	信州大学 教授	寺内 美紀子
学識経験者（教育機関）	長野県立大学 助教	三浦 正士
学識経験者（経営）	県公認会計士会 副会長	柄澤 壯重
学識経験者（法務）	県弁護士会 弁護士	北村 純子
学識経験者（技術）	市建設業協会 専務理事	畑 博
庁内	市 総務部長	倉石 義人
庁内	市 企画政策部長	酒井 崇
庁内	市 財政部長	清水 啓太

（順不同、敬称略）

【任期：令和元年7月（予定）～2年間】



案件に応じて
選任を検討

特別委員、専門委員
（附属機関条例第4条関係）

(2) サウンディング型市場調査の実施

昨年度5件の市場調査を実施

（小中学校クール化プロジェクト、飯綱高原観光施設、城山公園再整備、篠ノ井駅西口低未利用地、篠ノ井中央公園便益施設）

今年度も必要な案件について、対話の中で民間事業者のノウハウ等をお聞きする調査を実施する（未利用施設の利活用について実施を検討中）

※公民連携推進を図るための「民間事業者提案制度」「地域プラットフォーム」についても研究

5-1 マネジメントの実績 (公共施設白書以降の主な取組①)

・ 公共施設整備等(1)

	施設名	内容	備考
H29.4	豊野学校給食センター	564㎡ 第四学校給食センター設置に伴い用途廃止	普通財産
H29.10	第一学校給食センター	2701㎡ 改築整備に向けて解体	
H26.8	旧後町小学校	5365㎡ 廃止・解体	後町ホール設置
H28.8	更北公民館 青木島分館	259㎡ 廃止・解体	
H29.3	篠ノ井市民会館	2397㎡ 廃止・解体 篠ノ井総合市民センター整備	
H31.3	中条音楽堂	677㎡ 用途廃止	普通財産
H29.4	フルネットセンター	1975㎡ 用途廃止 公文書館等へ転用	
H28.3	大岡アルプス展望ふれあいセンター	475㎡ 用途廃止	JAへ売却
H27.7	戸隠基幹集落センター	599㎡ 廃止・解体	
H30.4	芹田児童センター	670㎡ 用途廃止 芹田小へ機能移転	森林組合へ売却
H30.12	真島児童館	187㎡ 廃止・解体 真島小へ機能移転	
H30.3	スパイラル	冬季製氷を中止	
H29.5	大豆島テニスコート	161㎡ 管理棟廃止・解体	
H26.6	旧サンマリーンながの	9277㎡ 廃止・解体 健康レクリエーションセンター整備	
H30.10	清掃センター(焼却施設)	11117㎡ ながの環境エネルギーセンター(広域連合)へ機能移転	

5-2 マネジメントの実績 (公共施設白書以降の主な取組②)

・ 公共施設整備等(2)

	施設名	内 容	備 考
H31.4	中御所保育園	682㎡ 民営化・施設移管	
H31.4	若槻保育園	578㎡ 民営化・施設移管	
H31.4	子どもの園保育園	499㎡ 民営化・施設移管	
H31.4	川中島保育園	549㎡ 民営化・施設移管	
H31.4	豊野みなみ保育園	585㎡ 民営化・施設移管	
H27.4	三輪保育園	844㎡ 民営化・施設移管	
H27.4	川田保育園	866㎡ 民営化・施設移管	
H27.4	下氷鉤保育園	499㎡ 民営化・施設移管	
H30.3	皐月保育園	644㎡ 移転改築・皐月かがやきこども園に	
H27.12	市役所第一庁舎	12189㎡ 解体・新第一庁舎(芸術館)整備	
H30.7	更北支所	619㎡ 旧支所事務室解体後増築	
H29.7	駅周辺整備局事務所	554㎡ 廃止・解体	
H29.	旧中央消防署・防災市民センター	1892㎡解体、新中央消防署整備、防災センター938㎡鶴賀分署に転用	
H31.3	駅前立体駐車場	2833㎡ 用途廃止	普通財産

上記のほか教職員住宅の廃止・解体、市営住宅の老朽化棟の解体、小中学校舎の増改築等あり

5-3 マネジメントの実績 (公共施設白書以降の主な取組③)

・ 施設使用料等の改定

年度	項目	改定内容(改定率)	所管課
R元	もんぜんぷら座使用料	会議室使用料 1時間200円→300円(50%) ぷら座ホール 1時間400円→500円(25%) ほか	市街地整備課
〃	茶臼山動物園	一般入園料 500円→600円(20%) 城山動物園大型遊具利用料 200円→300円(50%) ほか	公園緑地課
H30	放課後子ども総合プラン	利用料 月額2000円(新設) ほか	こども政策課
H29	老人憩いの家利用料	1回 150円→200円(33%) ほか	高齢者福祉課
〃	温湯温泉利用施設 (湯～ぱれあ)使用料	高齢者 250円→350円(40%)	観光振興課
〃	体育施設使用料	運動公園体育館 一般2時間 200円→300円(50%) 市営プール 一般1回 200円→300円(50%) テニスコート1面 午後300円→410円(37%) ほか	スポーツ課
H27	長野駅善光寺口・東口 駐車場使用料	1時間超え30分ごとに200円→300円加算 (初めの30分無料、1時間以内300円)	監理課
H26	勤労青少年ホーム・サン ライフ長野 体育館	午前9時～午後1時の利用料金1200円→1640円(36%) (午後1時～5時の利用料金に統一)	産業政策課
〃	不動温泉 さざり荘	宿泊料 中学生以上(2食付) 7800円～12800円→8500円 ～13900円(8%) 個室利用料 1日6000円→6500円(8%) ほか	観光振興課

5-4 マネジメントの実績 (公共施設白書以降の主な取組④)

・ 公共施設等総合管理基金の状況 (H30.3.28条例制定)

年 月	異動内容	増減額 (円)	現在高(円)
H30.3	基金設置による積立 ・市制90周年記念文化施設建設基金及び 庁舎整備基金を廃止した残余	2,403,792,686	2,403,792,686
//	運用利子	932	2,403,793,618
H31.3	長野市開発公社寄付金積立	700,000,000	3,103,793,618
//	国民宿舎松代荘改修事業(取崩)	△21,689,000	3,082,104,618
//	普通財産売払い収入 ・芹田児童センター(98,571,200) ・旧アルプス展望ふれあいセンター(3,980,000) ほか	103,846,095	3,185,950,713
//	運用利子	589,037	3,186,539,750

令和元年度予算 積立額 140,339千円
 内訳: 運用利息 4,351千円
 貸付収入 85,988千円
 売払収入 50,000千円

